

ホスピタリティ研修会・ボランティア講習会 おもてなし向上を目指し学習会

「観光ホスピタリティの向上を目的とした「ホスピタリティ研修会」と「ボランティア講習会」が物産観光センターなどでそれぞれ3回ずつ開催されました。

2月3日のホスピタリティ研修会では、県観光審議会委員の山本時博さんが「おもてなしの心でつくるまちづくり」というテーマで講演し、約40人が参加しました。講演では、地域振興に関わってきた自身の経験をもとに、観光客への対応を解説しました。

2月6日のボランティア研修会では、NIEC国際交流クラブの辻井利之さんが「海外体験談と国

際交流のお手伝い」というテーマで講演。自らの海外赴任の体験談を交え国際交流やボランティア活動に寄せる思いを語りました。

計6回開催された学習会には多くの市民が参加し、観光客への対応や観光によるまちづくりなどを学びました。



遊んで楽しく脳を柔軟に 脳活性化セミナー開催

遊びながら脳を柔軟にする「脳活性化セミナー」が開催され、30人の受講生が講義や体験を通して痴呆症の正しい知識やボケを寄せつけない暮らし方を学びました。

2月4日に行われた第1回のセミナーでは、山口市仁保病院の甲斐周作医師が「ボケない暮らし方」をテーマに講演。17日には、手足の関節に拘束具を装着し、白内障体験眼鏡をかけて階段を降りたりお茶をくんだりするなど、80歳程

度の高齢者の身体機能を疑似体験し、今後の生活習慣の改善について話し合いました。



ちりめんじゃこや青のりなど 学校給食に地元特産品を

1月30日、子どもたちに地元でとれる食材に興味を持ってもらうと地元特産品を使った学校給食が深川小学校で出され、児童は美味しく給食を味わいました。

1月24日から始まった学校給食週間に合わせ考えられた特別メニューで、この日の献立には長門市産のちりめんじゃこ、三隅町産の青のり、下関市産のふぐなど県内にとれる特産品が使われました。食材が地元でとれたものと知ら

子ども文化交流フェスティバル2004 カラー・ジュ・ワークショップ

2月22日、市立図書館でカラージュ（貼り絵）ワークショップが開催され、50人の子どもたちが参加しました。

このワークショップは、絵本「はらべこあおむし」で子どもたちに人気の作家エリック・カールさんの来日にあわせたもので、子どもたちはそれぞれ持ち寄った雑誌やポスター、新聞紙などの材料を使って、はらべこあおむしの食べ物やおむしが成長した蝶を作りました。

この日作った作品は、3月6日に開催される「子ども文化交流フェスティバル2004」山口会場



のニューメディアプラザ山口で展示されます。また、全国4会場をインターネットで結び、映像を通じてエリック・カールさんとのジョイントイベントが行われます。

